

岩波理咲記者 まつもとし 松本市1年

どこにおたからがあるかわからなかったから、うきうきときどきして、がんばってやろうっていうきもちになりました。やつたらやりがいがありました。みのやきやおちゃわんのかけらがみつかりました。もっとやりたいときにおわってしまいました。とってもたのしくておもしろくて、またやりたいです。



加島さわ記者 まつもとし 南箕輪村1年

はっくつしたのがたのしかった。あかりをともすおさらをみつけました。かまやつまようじとかつかいました。かまがいちばんのしかった。とんがってところでほりました。そおっこわれないようにやりました。ちょっとずつほりました。

浜野結記者 まつもとし 南箕輪村3年

発くつで、土をほってむかしの人が使っていた物を見つけた。ほりつけたら、はしの長いのと短いのと、かなぐとうつわのかけらが出てきた。最後までに四つもむかしの人が使っていた物を見つかり、「やった！」と思った。「終わりです」といわれた時にもっとやりたいと思った。

浜野杏記者 まつもとし 南箕輪村1年

(つぎの日に)まつもとじょうにのぼってきました。かいだんのたかさがたかくて、あしがとどきにくかったです。かべのあながはじめはなんのあなかわからなかっただけど、おしえてもらって、てっぽうのあなただとわかりました。はじめてかいいにのぼったら、とてもたかくてびっくりしました。

第13回信毎こどもスクール「しんまい火山の学校」

火 山はどうして噴火するんだろう？ 第13回信毎こどもスクール「しんまい火山の学校」

山はどうして噴火するんだろう？ 第13回信毎こどもスクール「しんまい火山の学校」を10月25日、浅間山のふもとの北佐久郡御代田町で開きます。火山の知識や噴火の仕組みなどを専門の先生たちのお話や体験教室で学びます。

◇日時 10月25日(日)午後1時～4時半
◇会場 エコールみよた
◇対象 小学生(定員100人程度、先着順)
※高学年向けの内容です
◇参加費 無料
◇第1部 「火山のお話」
 先生 東京大学名誉教授(火山学)
 荒牧重雄さん
◇第2部 体験教室 2つを入れ替わりして全員が体験します
 ☆「キッチン火山実験」
 身近にある食材や材料で噴火現象を再現してみます
 先生：秋田大学教授(火山学) 林信太郎さん
 ☆「岩石標本を作ろう」
 浅間山の石で標本を作ります。持ち帰れます
 先生：御代田町・浅間縄文ミュージアム主任学芸員 堤隆さん

***子どもスクールを取材する子ども記者の募集は定員になったのでしめきました。**

①郵便番号 ②住所 ③参加する小学生と保護者の名前 ④学年と年齢
⑤電話番号を書いて、信濃毎日新聞社読者センター「信毎こどもスクール」係あてへ。申し込み順に聴講券を送ります。
△はがき 〒380-8546 長野市南県町657
△ファクス 026・236・3193 **△メール** e-chiiki@shinmai.co.jp
問い合わせは、信毎読者センター 026・236・3110

申し込み方法

参加者募集!

第6回 写真と俳句のコラボ！「全国フォト×俳句選手権」作品募集！

どしどしうまくしてね！

めざせグランプリ
△昨年のジュニアグランプリ

◇ジュニア部門審査員
 Kono Saki
 神野紗希さん
 俳人。1983年、愛媛県松山市出身。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。2004年から6年間、NHK「俳句王国」司会。俳句甲子園審査員長、明治大学兼任講師。句集に「光まみれの蜂」など。東京在住。

◇主な賞
 グランプリ：1点(賞状、ニコン1 J5)
 準グランプリ：1点(賞状、ニコンデジタルコンパクトカメラ)
 ~以下の賞は高校生以下から選考~
 ジュニアグランプリ：1点(賞状、ニコンデジタルコンパクトカメラ)
 審査員ジュニア特別賞：2点(賞状、記念品)

◇しめきり 10月31日(土)
 郵便かメール、ホームページから応募できるよ。
 くわしくはホームページみてね。

◇ホームページ <http://www.shinmai.co.jp/photo-haiku/>
 ホームページが見られないなど、問い合わせは信毎読者センター(電話026・236・3110)へ。募集チラシを送ります。

写真も俳句もひとりで作ってね。